

2021年12月期 第1四半期決算



補足説明資料

株式会社テクノフレックス
証券コード:3449

- ✓ 本資料に記載された将来の見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき作成されたものであり、将来発生する様々な要因により、異なる結果となる可能性を含みます。
- ✓ 2017年～2018年決算期は、決算短信、有価証券報告書、四半期報告書及び連結計算書類を作成していないため、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和51年大蔵省令第28号)に基づき作成した連結財務諸表の数値を、参考情報として記載しております。
- ✓ 2017年決算期の数値は、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)の適用前の数値を、参考情報として記載しております。
- ✓ 2020年第2四半期から、事業セグメントの名称のみを下記の通り変更しておりますが、各セグメントの事業内容に変更はございません。

変更前		変更後
管継手事業	→	継手事業
管継手関連事業	→	防災・工事事業
金属塑性加工事業	→	自動車・ロボット事業
介護事業	変更なし	介護事業

1. 2021年12月期 第1四半期決算概要
2. 2021年12月期 業績予想
3. TOPIC



1. 2021年12月期 第1四半期決算概要

◆ 連結業績予想の進捗

単位：百万円

	1Q実績	2Q累計業績予想 (進捗率)	通期業績予想 (進捗率)
連結売上高	4,445	9,200 (48.3%)	19,200 (23.2%)
連結営業利益	742	1,150 (64.6%)	2,450 (30.3%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	487	700 (69.6%)	1,500 (32.5%)

➤ 当期業績予想について

- ✓ 当期も新型コロナウイルスの影響が継続すること、および大規模な工事案件が下期に予定されていることなどから、当期の業績予想は、下期の比率を高く予想しております。
- ✓ 一方で前期は、上期に大規模な工事案件が集中していたため、前年同期比では、上期は減収減益、下期は増収増益を予想しており、通期で増収増益を目指しております。

➤ 当期1Qの進捗

- ✓ 連結売上高は概ね順調に推移いたしましたが、水道分野のフレキシブル継手(継手事業)と消防設備工事(防災・工事事業)では、厳しい状況が継続しております。
- ✓ 業績予想に対し、連結営業利益および親会社株主に帰属する当期純利益の進捗率が高まっております。利益率の改善効果に加え、消防設備工事で、建設工事全体の遅延のため前期4Qの売上から漏れてしまった利益率の高い大型案件を、当期1Qに売上計上したことも、大きく影響しております。そのため、当期1Qのような進捗が通期に渡り継続するものではなく、市況や個別の案件により、変動が生じるものと予想しております。

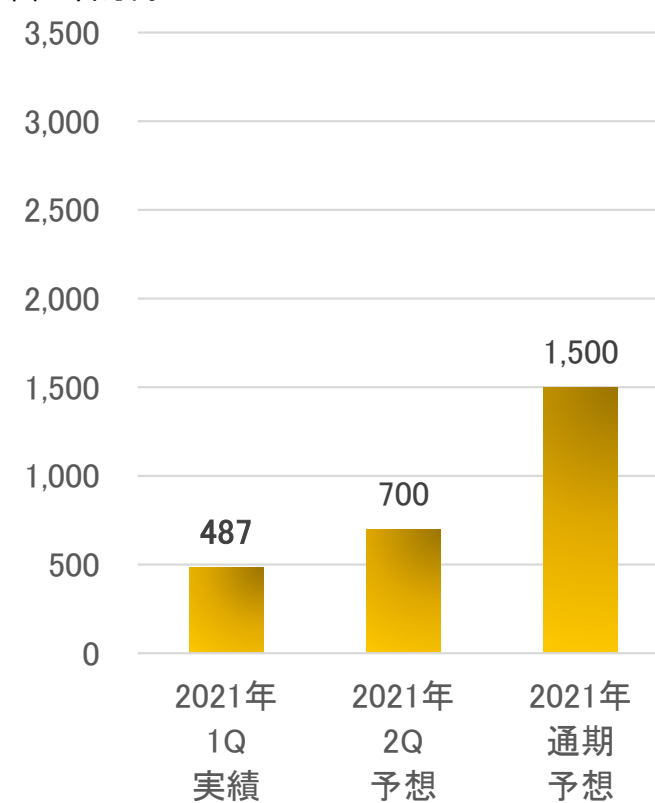
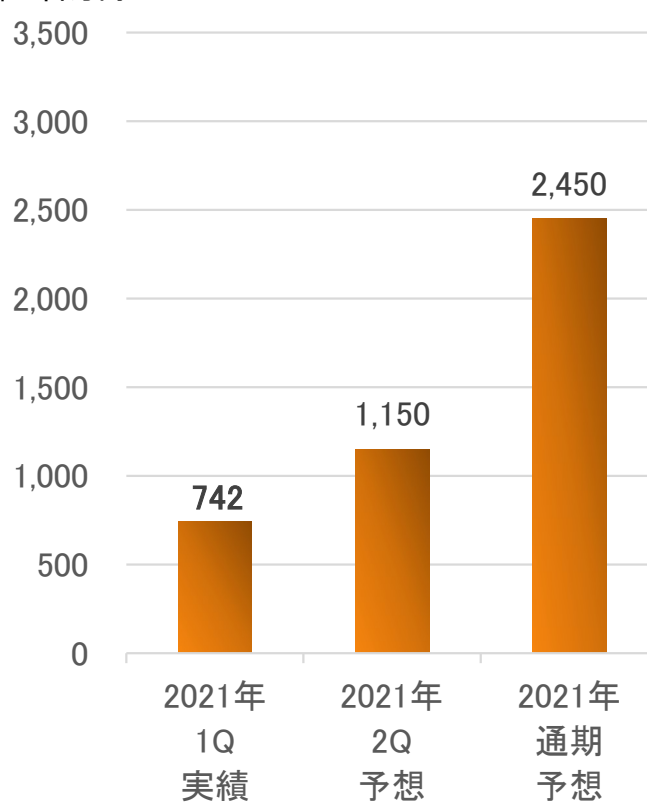
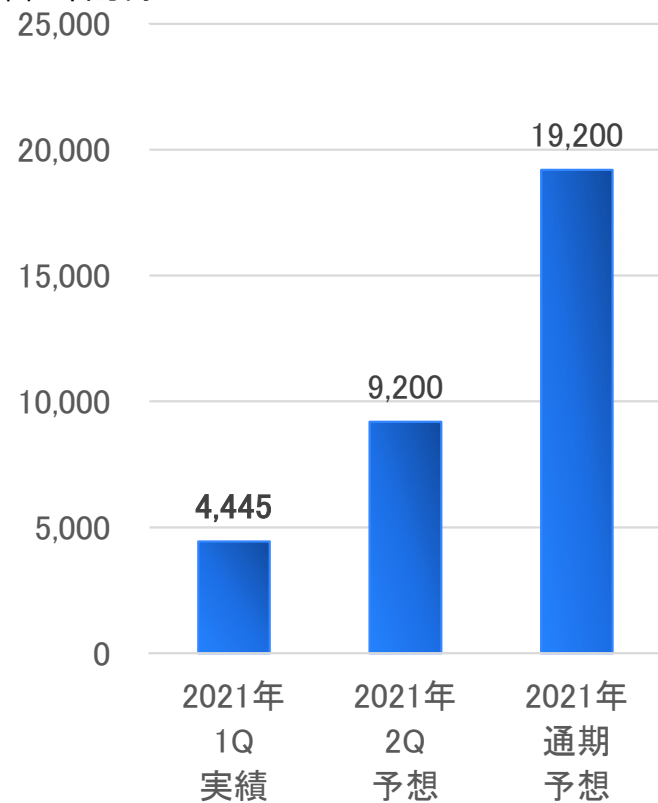
2021年12月期 第1四半期 連結業績 2 当期業績予想の進捗②



単位：百万円

単位：百万円

単位：百万円



売上高	
2Q予想比	48.3%
通期予想比	23.2%

営業利益	
2Q予想比	64.6%
通期予想比	30.3%

親会社株主に帰属する 当期純利益	
2Q予想比	69.6%
通期予想比	32.5%

2021年12月期 第1四半期 連結業績 3 四半期業績の推移



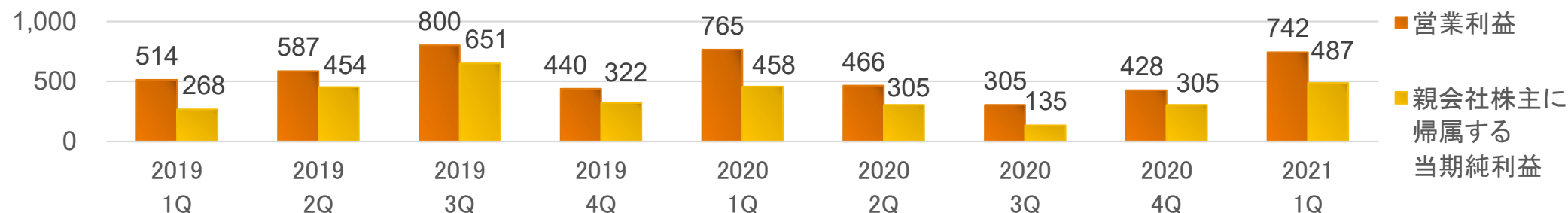
単位:百万円

四半期 連結売上高の推移



単位:百万円

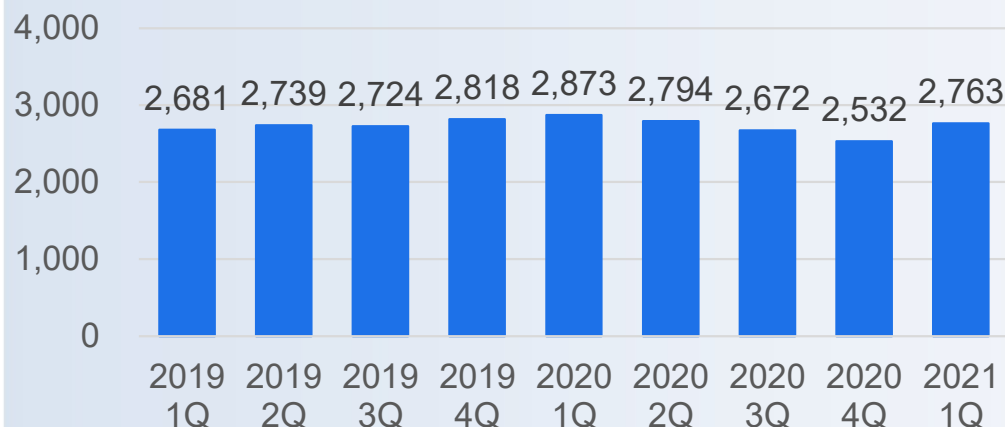
四半期 連結利益の推移



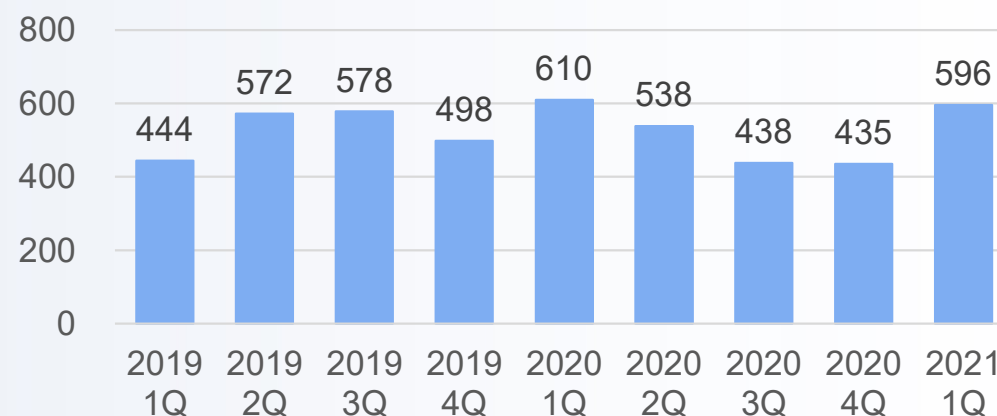
- 安定的な事業と大きく変動しながら成長する事業とを組み合わせた事業ポートフォリオのため、概ね一定の水準を保ちつつも、成長事業の市況変動が四半期ごとの業績に表れております。
- 前期は、1Qをピークに、新型コロナウイルスの影響で自動車市場が停滞し、建設市場がオリンピック特需後の端境期に入ったことなどを要因として、減少傾向となりました。
- 前期1Qは変動の波のピークでしたが、当期1Qは減少後の回復過程にあることから、前年同期比では、連結売上高▲859百万円(▲16.2%)、連結営業利益▲23百万円(▲3.0%)となり、為替差益の発生などにより親会社株主に帰属する当期純利益+28百万円(+6.2%)となりました。

◆ 継手事業

売上高の推移 単位:百万円



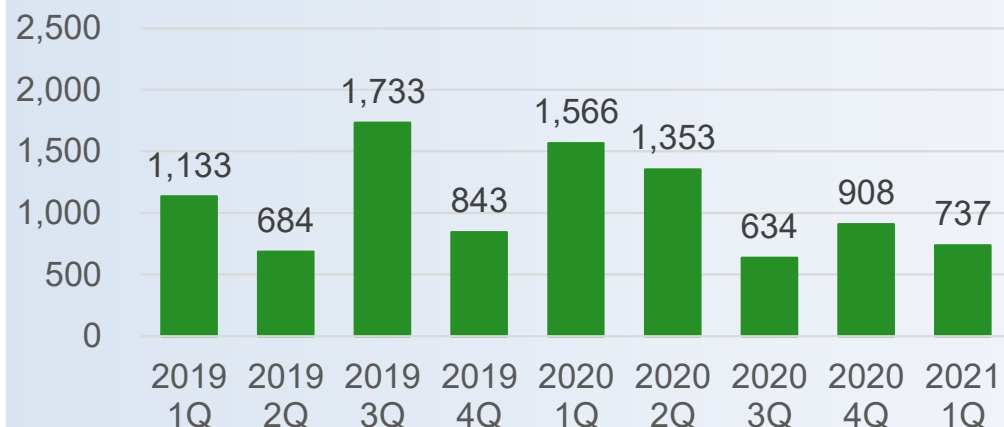
営業利益の推移 単位:百万円



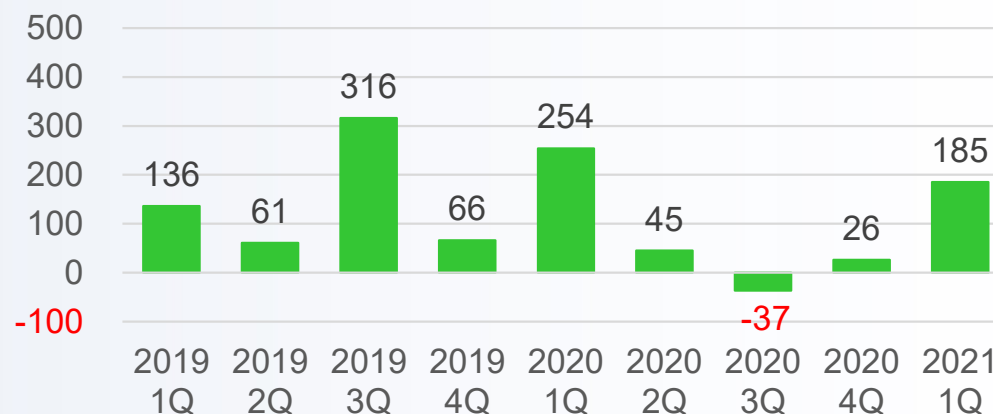
- 継手事業は、通常期には、水道などインフラ関連の製品が安定的に推移し、半導体関連の大きな設備投資があると、真空機器の業績が伸長する傾向にあります。
- 前期は、半導体関連の設備投資が1Qに集中し、2Qから新型コロナウイルスの影響が水道分野などで生じたことから、1Qを頂点に減少傾向となりました。
- 当期1Qは、新型コロナウイルスの影響が水道分野で残るものの、真空機器では、半導体関連の大きな設備投資や、チラーホース(温度調整用配管)とクライオホース(極低温配管)の売上増加が寄与し、概ね計画通りに推移いたしました。
- 以上のことから、当期1Qは回復傾向にあるものの、前期1Qに半導体関連の設備投資が集中して売上が増加していたことから、継手事業の前年同期比は、売上高▲110百万円(▲ 3.8%)、営業利益▲14百万円(▲ 2.4%)となりました。

◆ 防災・工事事業

売上高の推移 単位:百万円



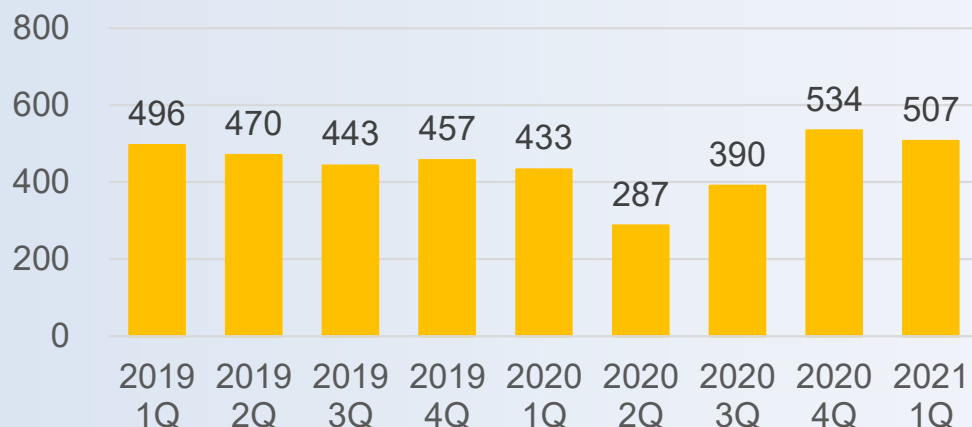
営業利益の推移 単位:百万円



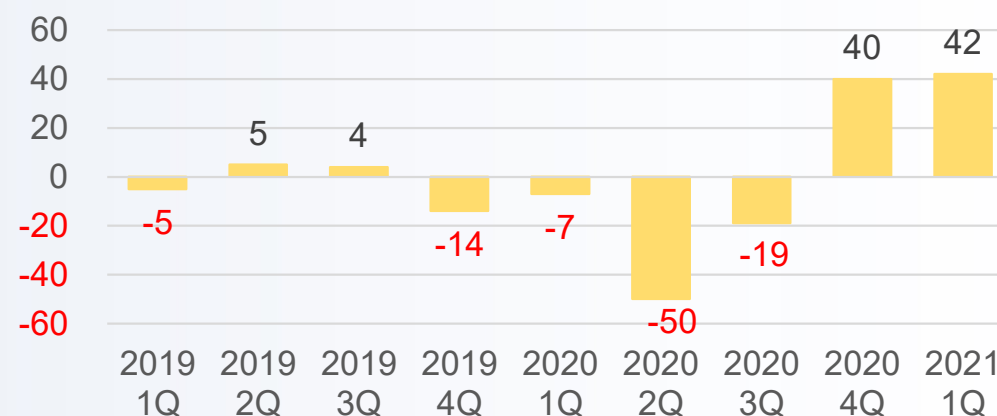
- 防災・工事事業は、消防設備工事の比率が高く、建設市場の動向に影響されます。また、消防設備工事の業績は、大型の案件が売上計上されると、その期の業績が大きく伸長します。
- 消防設備工事は、前期から続くオリンピック特需後の端境期にあり、低調な推移となりました。市況の回復は、下期以降と予想しております。営業利益の増加は、建設工事全体の遅延のため前期4Qの売上から漏れてしまった利益率の高い大型案件を当期1Qに売上計上したことが主な要因であり、その影響は限定的であります。
- 防災用貯水タンクは、住宅向け新製品「マルチアクアS1/S2」が好評であり、受注増加に努めております。
- 前期1Qは、消防設備工事で、完工基準の大型案件の売上計上が重なり、売上が大きく伸びていたのに対し、当期1Qは端境期にあることから、防災・工事事業の前年同期比は、売上高▲829百万円(▲52.9%)、営業利益▲69百万円(▲27.4%)となりました。

◆ 自動車・ロボット事業

売上高の推移 単位:百万円



営業利益の推移 単位:百万円

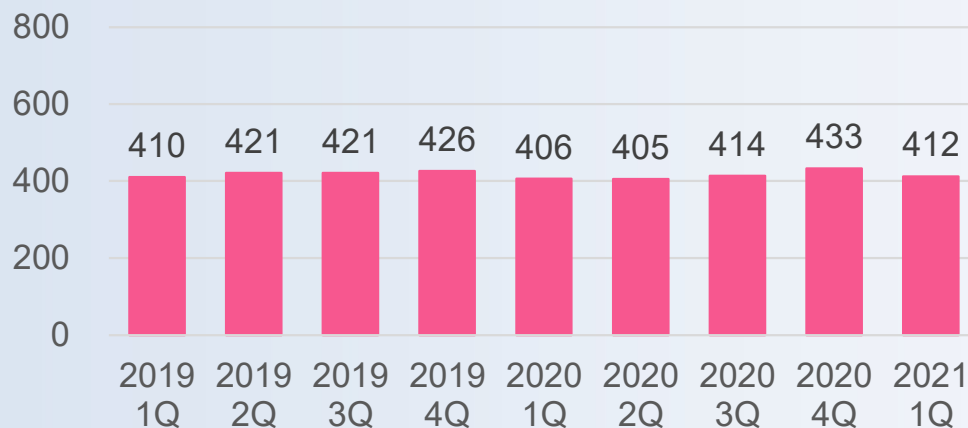


- 自動車・ロボット事業は、自動車分野が前期2Qに新型コロナウイルスの影響を最も強く受け、3Qまで落ち込みましたが、回復後は問題なく推移しております。
自動車市場では、半導体などの自動車部品の供給遅れが発生しておりますが、当期1Q業績への影響は軽微でした。
- ロボット分野は、徐々に売上比率を高めております。
製造業における設備投資の状況に影響を受けますが、当期1Qは、順調に推移いたしました。
- 以上のことから、自動車・ロボット事業の前年同期比は、売上高+73百万円(+17.0%)、営業利益+49百万円(前期1Qは7百万円のセグメント損失)となりました。

◆ 介護事業

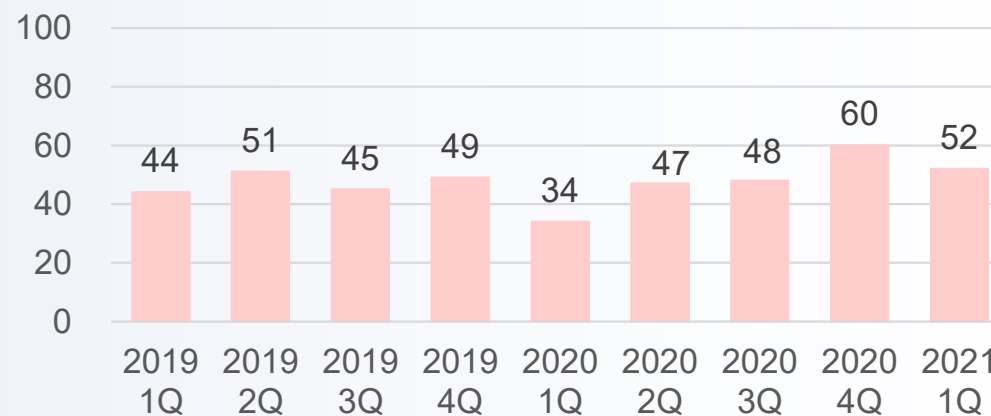
売上高の推移

単位:百万円



営業利益の推移

単位:百万円

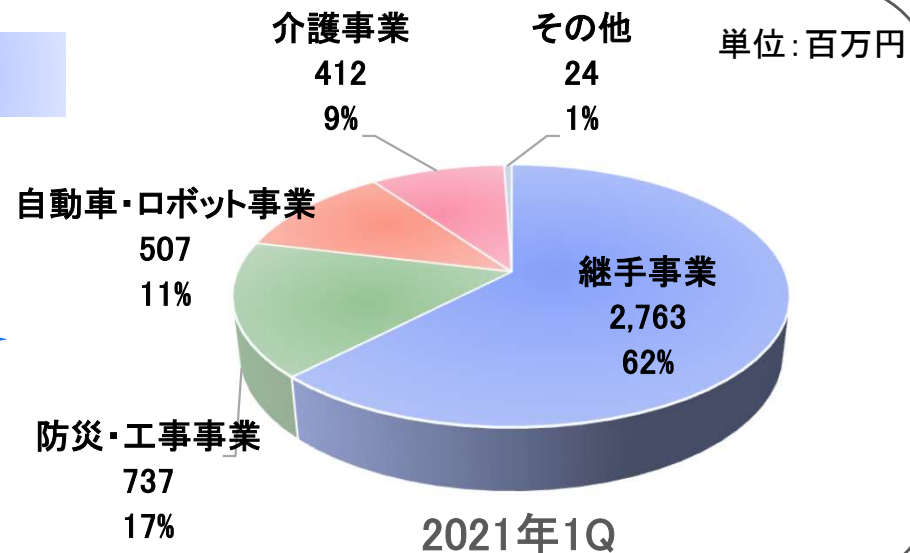
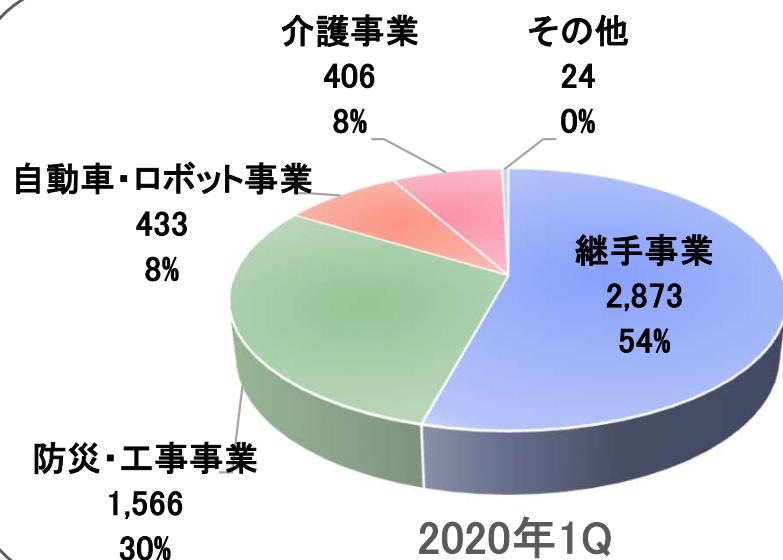


- 介護事業は、介護用品のレンタルを主軸としているため、コロナ禍でも継続契約に支えられて、底堅く推移しております。
- 当期1Qは、自社製品の開発や海外製品の輸入などにより、ご提供できる商品・サービスを増やす取り組みを開始いたしました。
- 以上のことから、介護事業の前年同期比は、売上高+5百万円(+1.5%)、営業利益+17百万円(+49.3%増)となりました。

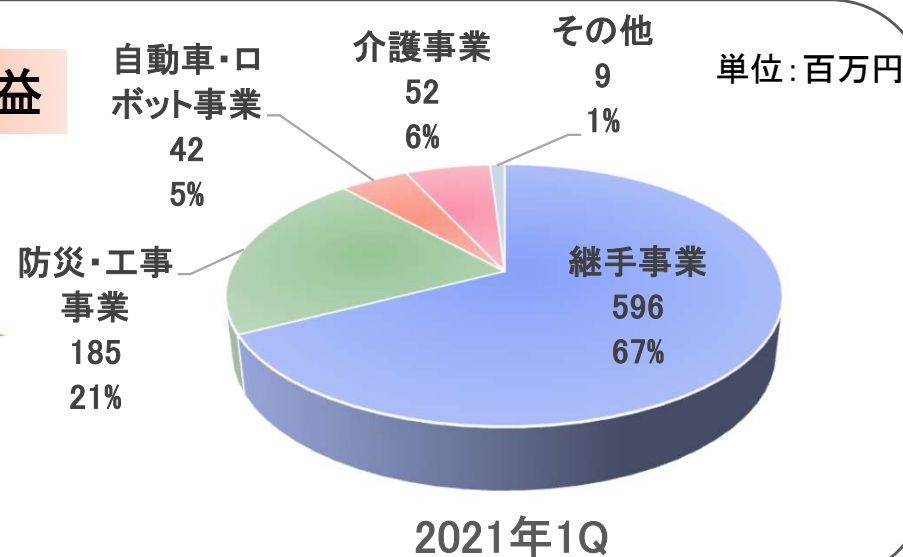
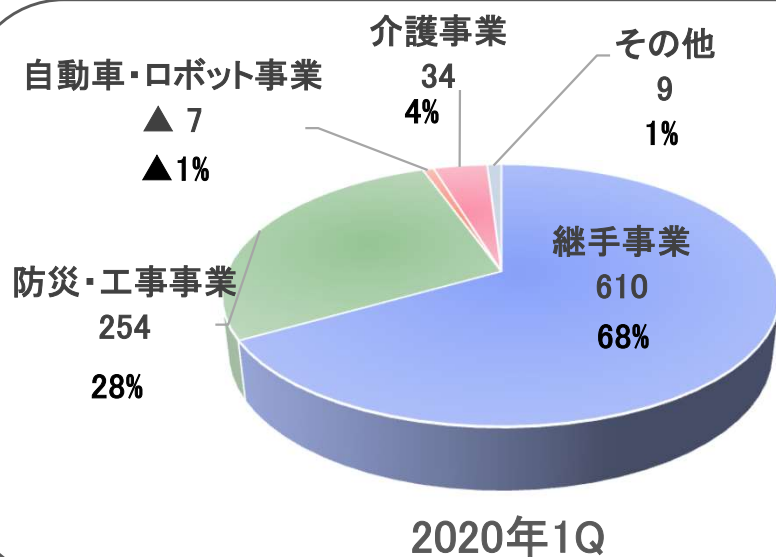
セグメント構成比



売上高



セグメント利益



連結貸借対照表(抜粋)



単位:百万円

	2020年期末		2021年1Q		前期末比
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産合計	13,135	49.6%	12,929	48.6%	▲205
固定資産合計	13,362	50.4%	13,672	51.4%	+310
資産合計	26,497	100.0%	26,601	100.0%	+104
負債合計	7,515	28.4%	7,181	27.0%	▲333
純資産合計	18,982	71.6%	19,420	73.0%	+438
負債純資産合計	26,497	100.0%	26,601	100.0%	+104

(主な要因)

流動資産 : 現金及び預金 ▲1,002、受取手形及び売掛金 +348

固定資産 : その他有形固定資産 +211

流動負債 : 未払法人税等 ▲205

固定負債 : 長期借入金 ▲148

純資産 : 親会社株主に帰属する四半期純利益 +487、配当金 ▲383、為替換算調整勘定 +227

連結損益計算書(抜粋)



単位:百万円

	2020年1Q	2021年1Q	前連結会計年度比 (増減額／増減率)	
売上高	5,305	4,445	▲859	▲16.2%
売上原価	3,479	2,618	▲861	▲24.7%
売上総利益	1,825	1,826	+1	+0.1%
販売費及び一般管理費	1,059	1,084	+24	+2.3%
営業利益	765	742	▲23	▲3.0%
経常利益	769	791	+21	+2.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	458	487	+28	+6.2%

(主な要因)

- 継手事業 : 半導体関連(継手事業・真空機器)の売上は堅調に推移するも、水道部門の売上減少により、減収となりました。
- 防災・工事事業 : 前期1Qは完工基準の大型案件の売上計上が重なったのに対し、当期はオリンピック特需後の端境期にあり、売上が大きく減少しました。
- 自動車・ロボット事業 : 自動車事業、ロボット事業とも受注が回復し、売上増加となりました。
- 介護事業 : 福祉用具のレンタルを軸に、底堅く推移しました。

2. 2021年12月期 業績予想

◆ 連結業績予想

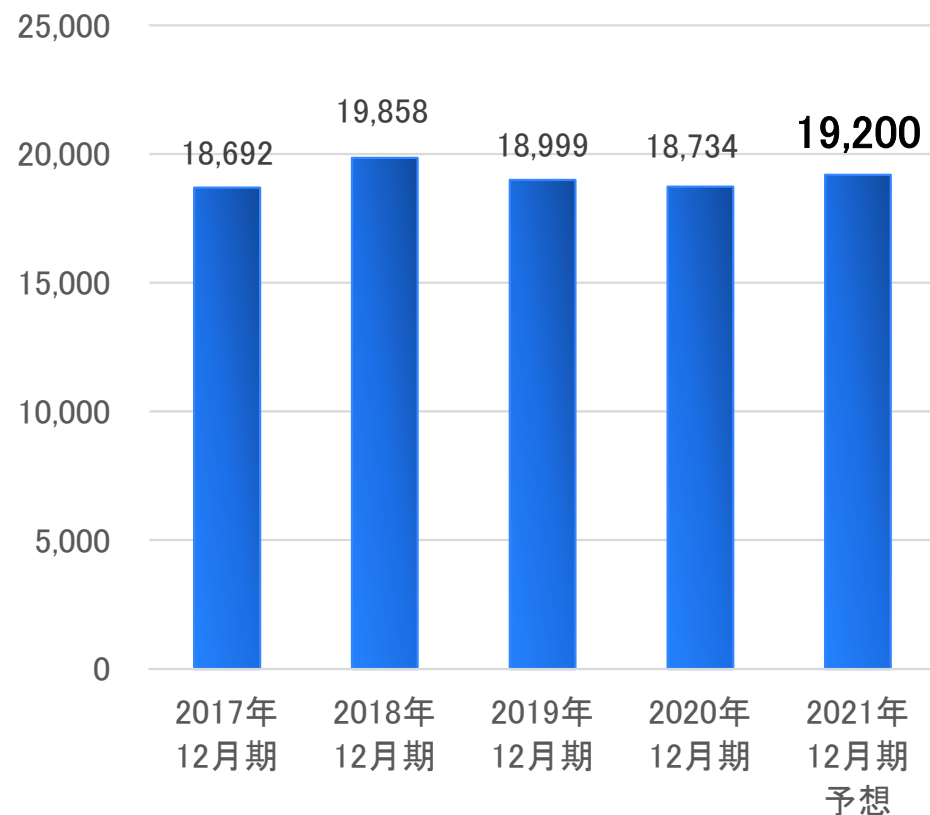
	2Q累計(上期)		通期	
	2020年 業績	2021年予想 (2020年2Q累計比)	2020年 業績	2021年予想 (2020年通期比)
連結売上高	10,168	9,200 (9.5%減)	18,734	19,200 (2.5%増)
連結営業利益	1,231	1,150 (6.6%減)	1,965	2,450 (24.7%増)
親会社株主に帰属する 当期純利益	764	700 (8.4%減)	1,205	1,500 (24.4%増)

- 新型コロナウイルスの影響が当期も継続すること、下期に大型工事が増加することなどを考慮し、下期の比率を高めた予想としております。
- 前期は、上期に、半導体関連の設備投資が集中したことと、消防設備工事で完工基準の大型案件の完工が多かったことから、売上・利益ともに極端な増加を見せました。
当期は、下期に半導体関連の設備投資や首都圏の再開発に関連した建設工事が増加する予定です。
このことから、当期の業績予想は、前年同期比で、上期は減収・減益、下期は増収・増益の予想といたしました。
- 前期途中から利益率の低下が見られましたが、前期4Q以降は回復傾向にあります。
引き続き、利益率の向上を目指して参ります。

2021年12月期連結業績予想 2

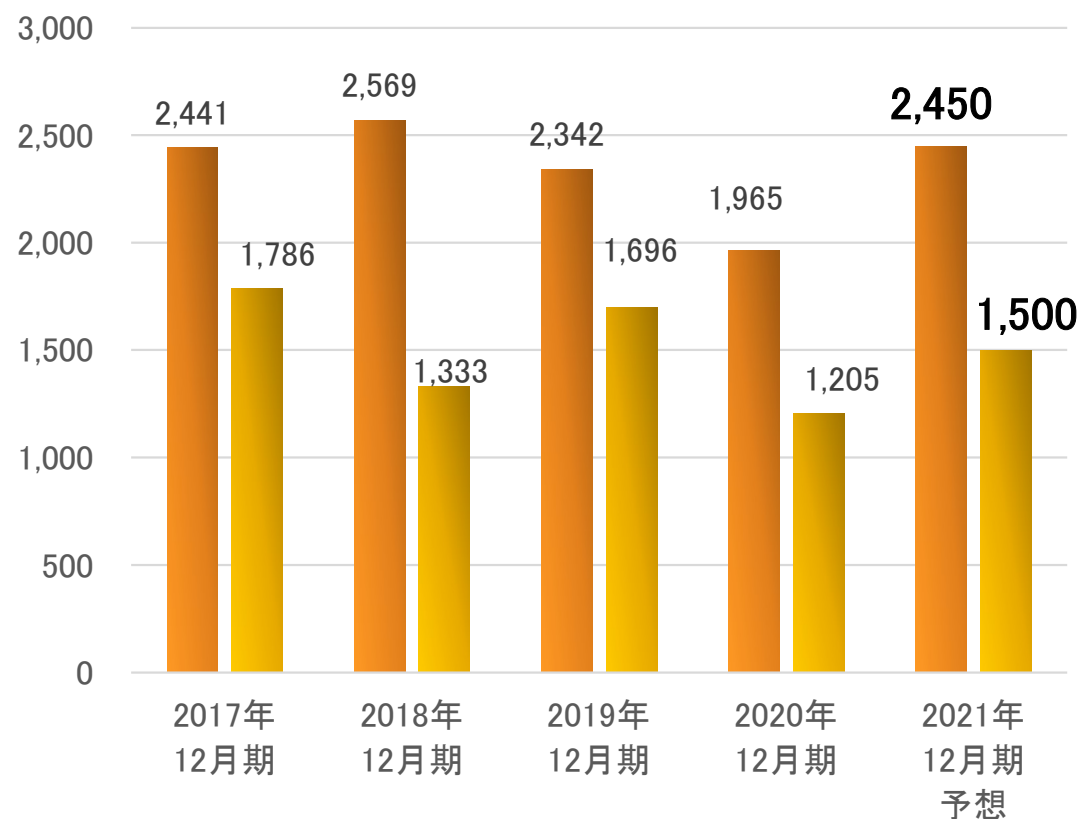


単位:百万円



前期比	
売上高	2.5%増

単位:百万円



前期比	
営業利益	24.7%増
親会社株主に帰属する当期純利益	24.4%増

◆ 継手事業

- フレキシブル継手は、新型コロナウイルスの影響が残る水道分野などは厳しい状況が続く見込みですが、下期以降は、首都圏再開発に伴い、建設分野の出荷が増加する見込みです。
- 伸縮管継手では、現在、拡張工事中の新潟工場で、6月の完成を見越して大型管などの受注を開始しました。なお、工場拡張による効果は、徐々に表れるものと思われれます。
- 真空機器は、半導体関連の設備投資スケジュールによって、業績に波が生じます。当期も、増減しながら成長するものと認識しております。

◆ 防災・工事事業

- 消防設備工事では、オリンピック特需後の端境期である上期は厳しい状況が継続し、下期以降は、首都圏再開発に伴い、消防設備工事の需要が、次第に回復してくるものと予想しております。
- 防災用貯水タンクでは、新製品「マルチアクアS1/S2」の住宅メーカー様向け出荷が増加する見込みです。

◆ 自動車・ロボット事業

- 前期は、新型コロナウイルスの影響から売上が大幅に減少しましたが、当期は概ね回復していることから、前期比プラスを予想しております。
なお、自動車市場では、半導体など自動車部品の供給不足の影響が懸念されますが、現時点では、当期業績への影響は、軽微であると思われれます。

◆ 介護事業

- 介護用品のレンタルを軸に、安定的に推移する見込みです。

3. TOPIC

セブン-イレブン様にマルチアクアを設置(防災・工事業)



- ◆ 株式会社セブン-イレブン・ジャパン様の店舗に、当社連結子会社である株式会社アクアリザーブが製造・販売する災害用貯水タンク「マルチアクア」が設置されました。
- ◆ セブン&アイグループ様の環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』に基づき、株式会社セブン-イレブン・ジャパン様では、店舗運営に伴うCO2排出削減の取り組みの一環として、最新の設備と技術を導入した省エネ店舗の実証実験を実施されています。
- ◆ また、実証店舗では、防災への取り組みも進めておられ、下記の2店舗でマルチアクア(大型の120Lタイプ)を設置していただきました。

● 青梅新町店	東京都青梅市	2020年11月25日開店
---------	--------	---------------

● 大和下鶴間店	神奈川県大和市	2021年 2月25日開店
----------	---------	---------------

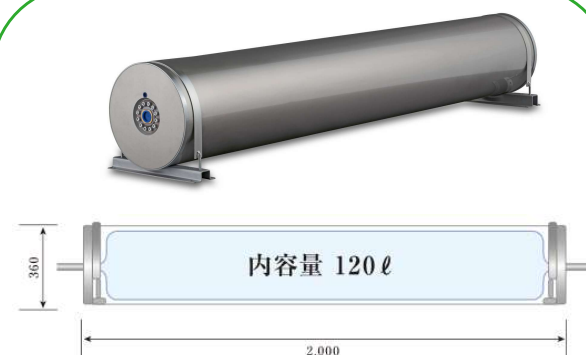
- ◆ なお、今後につきましては、実証店舗での状況を踏まえて、ご検討いただく予定です。

青梅新町店様での設置の様子

駐車場の隅に
設置していただきました。



設置していただいた製品と同じ
大型の120リットルタイプ ▶



株式会社アクアリザーブ

- ホームページ

<https://aquareserve.co.jp/>

2021年12期 第1四半期決算



補足説明資料 - 完 -

株式会社テクノフレックス
証券コード:3449